

東北中央病院 情報誌

Dreaming

私たちは「心温かい信頼の医療」を目指しています

病院の元気印

インタビュー

新院長に聞く

9月より堀川秀男院長の後任として、田中靖久院長が就任しました。これまでやってこれた医療や、今後の病院の経営方針などについて話を聞きました。

目次：

病院の元気印インタビュー「新院長に聞く」	1
開放型病棟懇話会「私のお気に入り」リレー連載	2
おじゃまします	3
クリニック探訪 骨の健康と食事について	4
写真歳時記 HappyBaby	5
	6

田中靖久

Tanaka Yasuhisa

52歳



地域に「なくてはならない病院」へ

山形 についての印象は？

私はこれまで郷里の八戸をはじめ、仙台、本荘、気仙沼、石巻、いわきとすべて港町で過ごしてきました。山形に来てどこにいても山々が見えるという光景には驚きと新鮮さを感じました。

ある東京出身の先生が、山々に守られていると思う時と非常に圧迫感を感じる時があるとおっしゃっていました。私の場合は早く、山形の風土に同化して、前者の心境であり続けたいと思います。

脊椎外科医になった理由

私が脊椎外科医になったきっかけは、中学時代にバスケット部の試合で椎間板ヘルニアになったことです。当初、近隣の病院に入院したものの一向によくならず、ある接骨師の評判をお聞きして、治療を受けるために福島県石川町に長期滞在しました。その接骨師は、現在の福島県立医大整形外科の菊地臣一教授の父上です。中学3年の

時に、あわせて5ヶ月間入院しました。福島での治療のおかげで、症状も徐々によくなり、大学生になるころには、普通にスポーツができるくらいまでに回復しました。

菊地先生の素晴らしかったところは、受験を控え、メンタル面で弱くなっている中学生の私に、「良くなるよ、治してあげるよ」と自信に満ちて励ましてくれたことでした。裏打ちされた確かな技術と経験があったからだと思います。とても、安心し嬉しかった言葉です。

私は、患者さんとのこうした心のつながりが大切だと思っています。診療にあたって、患者さんの悩み、苦しみのおすべてを聞くように心がけています。必要とあらば、プライバシーにも踏み込みます。どのような難しい疾病でも、互いの気持ちを通わせて、そして、自信を持って自分の治療を勧めることが大事だと思うからです。手術に際しては、すべての話を聞いて、こちらからも十分に説明して納得頂いたのちに、「どうぞ、私に手術を任せてください」と申し上げるようにしています。

Dreaming

新院長 インタビュー



プロフィール

出身：八戸市白銀町

種差海岸（波打ち際まで天然の芝生が広大に生い茂る世界に2ヶ所しかない海岸の一つ）が近くにあるそうです。

現在は単身赴任中。

家族構成：奥さま・お子さま4人
長男24歳・長女22歳・次女20歳・三女8歳
血液型：O型

趣味：映画鑑賞

最近見た映画で良かったのは、ミリオンダラーベイビー。古くは、ショーシャンクの空に。また、小学生になるお子さまと遊ぶのが楽しみ。

好きな言葉：義務先行

自分への戒めで、他人に要求したり批判するときには、先ず、自分がきちんと義務を果たしているかを自ら問いかけるようにしているそうです。

略歴

- ・昭和54年3月 東北大学医学部卒
- ・平成16年9月 東北大学整形外科助教授
- ・平成18年8月 東北大学整形外科特任教授

専門領域 整形外科・脊椎脊髄外科
脊椎脊髄外科指導医

脊柱短縮術の手術件数が、日本で最も多い整形外科医の一人だそうです。

専門は脊椎外科！脊椎外科医は体力勝負？

卒業後10年ほどして、脊椎外科学を専門分野にしました。手術件数は、近年は年間150例ほど、これまで1000例以上を経験しています。手術で最も多いのは腰部脊柱管狭窄症、次は頸部脊髄症、そして腰椎椎間板ヘルニアです。あわせると手術の8割あまりになりますね。

脊椎手術の最長時間例は36時間。その際には患者さんが亡くなるか、わたしが亡くなるかのどちらかのような心境になりましたね。無事に成功して、痛みと麻痺で苦しんでいた患者さんが、今は杖を使って元気に歩いています。

脊椎の手術はエネルギーを費やし、神経を集中させて行うので、手術を成功に導いたときの達成感・満足感是非常に高いものがあります。

1998年、香港大学の整形外科教室に約半年間留学をしました。私の師匠であり現在東北大の名誉教授である国分正一先生が香港で脊椎外科学を学んだ経緯があり、先生の勧めがあったからです。香港の人々は日本びいきで歓迎してくれて、大変親切にしてくれました。留学中に大変光栄に思ったことは、小児心臓外科の教授が私の脊椎外科の技術を信頼してくれて、彼の頸椎の手術を託して下さいました。手術が無事に成功し、順調に回復した際には私を豪邸に招待してくれました。その時にごちそうになった「干しあわびのステーキ」を思い出すと、今でもよだれが出てしまいます（笑）。

脊椎の手術が必要なのはどんな場合？

腰椎椎間板ヘルニアについては、手術をしなくても9割がた治ります。手術が必要となるのは、1)両下肢麻痺がある場合、2)失禁とか尿が出せなくなる膀胱直腸障害が発生した場合、3)保存療法を2~3ヶ月やっても痛みがとれない場合です。

頸椎症や頸椎椎間板ヘルニアなどでは、片手だけに痛み・しびれがある場合は、あまり手術の対象にはなりません。両手に症状がある場合には、脊髄が傷んでいるということなのでほとんどが手術対象になります。

現在増えている腰部脊柱管狭窄症の場合は、両足に痛みがある場合です。馬尾がやられていますから、手術の対象になることが多いです。片足にしか症状がない場合は、おむね保存療法でよくなることが多いです。

脊椎の手術は危険という気がしますが？

東北大学の関連病院43施設では、脊椎の手術は年間2500件ほど行われています。脊柱管狭窄症や頸部脊髄症といった、一般の変性疾患の手術では、過去15年間のうちで、たとえば足腰がたたなくなったとか、術後手足が麻痺して動かなくなったとか、車椅子の生活になったとか、そういうケースは幸い皆無です。安全性は極め

て高く、腰椎ヘルニアでは術前の症状の70~80%、頸椎は約60%、腰部脊柱管狭窄症では60~70%が手術後にとれて良くなります。

先日、大学の学生に腰の手術の安全性についてアンケート調査を行ったのですが、一般に腰の手術をした場合の結果として、1.成功し、良くなる 2.しばしば症状が悪くなる 3.しばしば手術後に車椅子になってしまう という3つの選択肢を準備したところ、1番を選んだ学生が25%、残りの75%は2または3を選択しました。学生たちがそのように答えたのだから、一般的に「脊椎の手術は危険だ」という誤ったイメージを持った方は多いのではないのでしょうか。

もちろん、最初から重症例で、手術前よりも症状が悪化する恐れのある難しい手術もあります。しかし、大部分の脊椎の手術は安全で、有効な治療と言えると思います。

しかし、脊椎の手術のリスクが低いからといって、症状があった迷わず手術したほうがよいというわけではありません。手術前の診断が大事です。診断をあやふやにして、手術に臨むべきではありません。私は、診察をとっても大事にしています。高齢の方の診察も大好きです。難しい症例の場合には、診察に1時間以上かかることもあります。正確な診断がとても大事だからです。

自分の医療技術で、山形の人のに貢献できれば良いと考えています。

病院長に就任しての抱負は？

私たちは公立学校の教職員および家族の方々のみならず、地域、社会に貢献すべき責務を負っています。「心温かい 信頼の医療」を実践し、質の高い医療を、患者さんや地域に提供していく使命があると思います。

そのためにはよりよいスタッフ、最新医療機器の導入が必要であり、併せて病院経営の安定が不可欠です。そのうえで、職員が一丸となって、より一層の発展をめざしていきたいと思えます。

そして、この東北中央病院が地域・社会にとって、「なくてはならない病院」と評価して頂けるように努力していきたいと考えております。皆様のご支援とご指導を心からお願い申し上げます。

脊椎専門外来 を開設しました。

月・木曜日の午前中(8:30-11:30)に、田中院長が直接、診察にあたります。腰痛やクビ・背中の痛みなどで悩まれている方は是非ご相談下さい。

Dreaming

かかりつけ医師と病院医師の連携！

病診連携室 阿部 泰尚

『開放型病床について』

病診連携室専用電話（フリ - ダイヤル）
0120 - 703 - 995

当院では、平成16年8月より「開放型病床」を設置し、かかりつけ医の先生方と病院医師が連携して診療を行っております。開放型病床とは、かかりつけ医の先生方に病院を開放し互いに連携することによって患者さんへ一貫した医療を提供することを言います。

具体的には、患者さんが入院をした際に、かかりつけ医にも、病院へ診察に来ていただいて、院内主治医の2名で共同して診療を行います。院内主治医には患者さまが入院される前の状態が十分に把握でき、かかりつけ医には退院後も入院していた時の状態が分かり、一貫した医療が行えるという利点があります。複数の医師が診療に携わるひとにより「セカンド・オピニオン」が実践され、安心して適切な医療を提供できるようになります。

先日も登録医の先生方より参加を賜り学



習会を開催しました。このような医療の形になったことについてはまだ日が浅いので、患者さんから見れば不明な点が多いかもしれません。当院病診連携室までお気軽にお問い合わせください。



私のお気に入り」リレー連載（ ）

病診連携室 阿部 泰尚

『山形県野球場』

山形県東村山郡中山町長崎 5081

野 球好きの方なら何度と無く足を運んでいる場所ではないでしょうか？と言うのも、昨年から「東北楽天ゴールデンイーグルス2軍本拠地」となった野球場です。また、元ロッセオリオンズのマサカリ投法で有名だった「村田兆治投手」が200勝を挙げた所としても有名な野球場です。プロ野球に限らず毎週土日は何らかの大会が催されているようです。

実 は私も幼い頃から野球が大好きで、高校時代は甲子園という大舞台を目指した球児でした。残念ながら甲子園で野球をすることはでき

ませんでしたが、苦しい練習に耐えたことが今の日常生活にとっても役立っています。現在はプレーヤーから審判という裏方に回り、違う目線で野球を楽しんでいます。

先 日の全国高校野球選手権大会決勝戦は、それにも、物凄い決勝戦でしたね。よく耳にする話で、「野球にはドラマがある」ということを聞いたことがあると思います。まさに言葉通りの試合だったと思います。選手達が一生



審判をしているのが阿部です。

懸命にプレーする姿を観戦するととても感動します。

野球が好きだという方は、是非、お弁当やお茶を持って、一緒に野球観戦に行きましょう！！気軽に声をかけてください。



大場 夏枝

おおば なつえ

山形市在住。
家族構成
パートナー・お子さん2人
血液型：B型



インタビュー担当
文・写真) 元木 ゆかり



Q：どのような相談が多い？

最も多いのが退院後の相談です。退院後の療養先として、自宅、病院、施設が考えられます。

自宅療養の場合は、介護保険利用の相談を受けたり、転院、施設入所の場合には、その受け入れ先の紹介などを行っています。その他、身体障害者手帳の交付に伴う相談、高額療養費についてなど医療費の支払いに関する相談、患者様・ご家族の精神的問題に関する相談などもあります。

Q：相談件数は？

相談件数は一日平均10件程度でしょうか。相談時間は様々ですが、およそ30分くらいが平均ですね。

Q：大変なこと、やりがいは？

患者様本人に問題意識がない場合は、ちょっと困りますね。周りの方が、いくら心配して相談にいらしても、問題は解決しませんから。まず、現状から一歩踏み出そうとする気持ちを持っていただけるよう、面談させていただいています。

相談された方が、悩みごとや問題が解決して、治療に専念されて元気になると、良かったなと思います。そんなところにやりがいを感じます。

Q：実際に相談をしたい時は？

通常、医事課内の医療相談室にありますので、直接いらしていただいてもかまいません。電話で予約していただいても結構です。入院されている場合は、看護師を通し、お呼びいただければ、病室までお伺いします。

Q：患者様に一言お願いします。

お金、介護、家族のことなどで悩んでいる方は、お気軽に相談室におこください。秘密はお守りします。

「介護保険の手続きはどうですか」など簡単なことでも大丈夫です。「話を聞いてほしい」「困っているんだけど」こんな時、思い出して、相談室にお声をおかけください。

インタビュー・文・元木 ゆかり

ソーシャルワーカー

ソーシャルワーカーとは社会福祉専門職です。大きく二つに分けられ、ケアワーカー職とソーシャルワーカー職があります。

ケアワーカーには介護福祉、保育士、ホームヘルパーなどがあります。身体面や日常生活上の身の回りのお世話を担当することになります。

ソーシャルワーカーは相談援助職です。社会福祉の専門知識や専門援助技術の観点から、日常生活上の不安や困難性、家計、健康、家族関係、居住環境、学業や職業、生きがい、あるいは地域社会における偏見や差別など、生活上困難な状況に置かれている患者様の相談に応じています。

Q：ソーシャルワーカーとは？

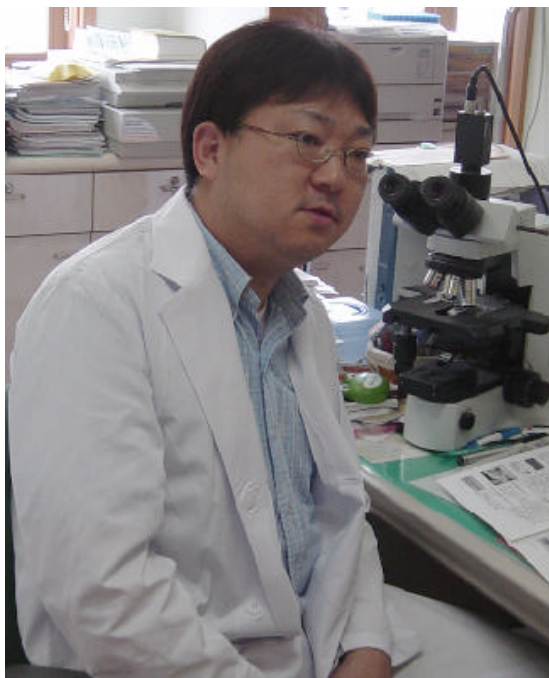
患者様が医療を受けるにあたって、病気以外に様々な問題や心配事が生じます。その相談窓口になるのが、ソーシャルワーカーです。

ソーシャルワーカーは、患者様やその家族の方が抱えている問題を伺って、主治医の先生に相談したり、地域の医療・保健・福祉機関と連絡を取ったりしながら、その問題解決のお手伝いをする仕事です。

ソーシャルワーカーには、決定権はありません。あくまで、患者様や家族の方の意向を最優先に、活動を行っております。



この連載では、病診連携でお世話になっている施設が、どんな医療を展開しておられるのか、お話を伺っています



に、少しでも自分にできることは無いかと考えたことが開業したきっかけですね。

Q: クリニックの様子を教えてください

A: 当院は、朝9時00分から夕方6時まで診療を行っています。患者さんとの目線の高さを同じにしています。そうすることによって、患者さんからより重要な身体情報が得られることがあります。特に泌尿器科疾患で来院された患者さんは、恥ずかしさのあまり随分緊張されていて、症状を全部言えない方もいらっしゃるようです。また、健康相談を受けることが多くありますが、時間の許す限り相談には乗るようにしています。「かかりつけ医」として、患者さんから学ばなければならないことが沢山ありますね。

Q: 東北中央病院に対する要望等は?

A: CTやMRI、RIなどの放射線検査で沢山西世話になっています。開業医にとって、診断は診療における第一段階で、引続き開業医で治療できるのか、あるいは病院にお世話になるのが決定されます。最近は患者さん自身が医療について勉強しており、手術の必要な重症例は直接病院に受診しているようです。東北中央病院は早くから病診連携医療に着手し、患者さん本位の医療を継承されています。今後、医療制度が変化しても患者さんに対する態度や気持ちは変わらずにお願いしたいと思います。

プロフィール
伊藤 啓一先生

【泌尿器科、皮膚科】

山形市五十鈴
1丁目1番28号
023-615-1150



Q: 先生が開業したきっかけは?

A: 病院勤務医時代に、手術の必要がない「前立腺肥大症」などの慢性疾患を持つ患者さんや「ホルモン治療」をしている前立腺癌の患者さんが、たった3分の病院外来診療を受けるために長蛇の列を作っている光景をよく見かけました。その時

インタビュー・文・阿部 泰尚
写真・元木 ゆかり

骨の健康と 食事について!

骨の健康と食事について

骨は私たちの体を支え、内臓を保護し、筋肉や腱などと一緒に体を動かす大切な働きをします。年齢とともに骨の強さは衰えてきますが、体の状態や生活習慣でその衰え方に個人差がでできます。それでは、チェックしてみましょう。

あなたの骨は元気ですか? 危険因子
CHECK 「ハイ」の数ほどの位あります
ますか?

身長が低くなった
タバコを一日20本以上吸う
お酒の量が多い
コーヒーや紅茶が大好きでよく飲む
胃や腸の手術を受けたことがある
体を動かすことが少ない(天気が良くてもあまり外に出ない)
牛乳や乳製品が嫌い、また小魚や豆腐はあまり食べない
加工食品やインスタント食品をよく食べる
極端なダイエットをしたことがある。
小柄でやせている
閉経を迎えた女性



「ハイ」の数が多いほど骨粗しょう症になる確率が高くなります。予防やその発症を軽くするのはいつからでも始められ、遅すぎることはありません。骨を“丈夫”に、“長持ち”させる生活習慣を身につけましょう。



Season's Photo

写真歳時記 < File6 >

HappyBaby

幸せのお裾分けをいただけるように、
病院で一番幸せな顔を掲載させていただきます。



講堂から見える景色

講堂から天気の良い日には月山が見えます。月山にはまだ雪が残っています。梅雨入りしたので病院の外は蒸し暑いです。お昼休みには、雪の残った月山を眺めながら、さくらんぼを食べています。

ところで、先日敷地の点検をしていたところ、ヘビに遭遇しました。聞いたところでは、近くに田んぼがあり、餌になるカエルが豊富にあるので、頻繁に見かけるとのことでした。山形は、人間にしてもヘビにしても食べ物のおいしい(?)季節になってきました。

(文・写真 久本 恒生)



骨を強くするメニュー！

青梗菜と豆腐のオイスター炒め



材 料 (2人分) :
青梗菜 100g
木綿豆腐 1/2丁
車えび 40g (しょうゆ・オイスターソース 各小さじ2・砂糖 小さじ2・酒大さじ2)
サラダ油 小さじ2
片栗粉 小さじ2
しょうが ひとかけ
小ねぎ 少々

作り方：

青梗菜は、3cmくらいの長さに切る。豆腐は水切りし、1cmくらいの厚さに切る。えびは殻と背わたを除きづつ切りにする。しょうがは薄切りにする。

フライパンに油を熱し、しょうが、えび、青梗菜の順に炒める。えびの色が変わったら、Aを加える。

豆腐を加えてひと煮し、かたくり粉でとろみをつけ、上から小ねぎをちらして出来上がり。

カルシウムが多い(骨を強くする)青梗菜と豆腐を組み合わせました。青梗菜のかわりに菜の花や小松菜に、えびのかわりにあさりや生揚げに代用しても美味しいです。

(カルシウム :150mg エネルギー :165kcal)

手軽に出来るメニューですので、ぜひ作ってみてください！

細谷 泉様

今回、8年ぶりの妊娠・出産で待望の女の子を産むことが出来ました。長男・次男そして長女と3人を東北中央病院で出産することができ嬉しく思っています。予定日まで長期入院という生活を強いられてしまい落ち込みとストレスたまり放題のわたしをいつも笑顔で見守っていただき本当に感謝しています。金子先生、赤塚先生をはじめ3Fのスタッフの皆さん本当にありがとうございました。

Editor's voice

新院長のインタビュー：脊椎手術の「本物のプロフェッショナルが来た」と感じました。患者さんと、とことん話し合って、最後は自分の技術を自信を持って動める姿勢は素晴らしいと思いました。経営采配も大きい成果が上がるように、期待をしています。ソーシャルワーカーの大場さん、伊藤啓一先生など、院長同様に、患者さんを大事にする姿勢が伝わってきていいお話だと思いました。ありがとうございました。(0)



990-8510 山形市和合町3-2-5

公立学校共済組合 東北中央病院

電話 023 (623) 5111 FAX 023 (622) 1494

www.tohoku-ctr-hsp.com

Email: jim@tohoku-ctr-hsp.com

発行責任者：田中 靖久 編集：広報委員会